

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年 9月30日 (水) 6校時
対 象 男14名 女11名 計25名
指導者 藤原 幸雄

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう (光村図書 下)
主教材名 「アップとルーズで伝える」 (説明文)
「四年三組から発信します」一選んで伝える一
補助教材名 「便利ということ」 (教育出版 下)

2 単元について

(1) 児童について

児童は3年上「ありの行列」で形式段落毎に要点をまとめる学習を行い、4年上『かむ』こと
の力」で接続語や繰り返し出てくる言葉、文末表現などに気をつけて読んだり、段落と段落のつ
ながりを考えたりしながら、文章の中の大きなまとまりをとらえたりする学習を行っている。

これらの学習を通して、文末表現や指示語から問いかけやまとめに当たる文章を見つけること
や、接続語を基に段落と段落のつながりを考えることができるようになってきている。

しかし、個人差が非常に大きく、本文の中からキーワードや中心文を的確にとらえられない児
童もあり、友達の発表を聞くことで一緒に考えたり、まとめたりしている。また、自分の考えを
はっきり話せない児童や、人の話を最後まで聞けない児童もいる。

(2) 教材について

小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の「読むこと」における目標は「目的に応じ、
内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けるとともに、幅
広く読書しようとする態度を育てる。」である。

主教材は、「段落ごとの中心的事項をとらえ、段落相互の関係を考えながら読むこと」をねらい
とした教材である。「アップとルーズで伝える」は、テレビや新聞などを通して私達に届けられる
映像や写真が、送り手の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることを基本的な映
像の技法である「アップ」と「ルーズ」を通して考えさせていく説明文である。

文章全体は、大きく3つのまとまりで構成されている。問題提示(形式段落①②③)では、「ア
ップ」と「ルーズ」には、「どんな違いがあるのか。」という問題を投げかけている。説明(形式
段落④⑤⑥)では、「アップ」と「ルーズ」のそれぞれの長所と短所を対比的に説明している。ま
とめ(形式段落⑦⑧)では、画面でも紙面でも「アップ」と「ルーズ」が使い分けられており、
相手や目的に応じて取捨選択されていると述べられている。したがって、文章構成が分かりやす
く、段落相互の関係を考えることのできる教材である。

「四年三組から発信します」は、児童自らが発信者となり、情報の収集・選択・発信を体験
することのできる教材である。

補助教材「便利ということ」は、主教材と同様に段落と段落の結びつきを考えて、書かれてあ
ることを正しく読み取ることを目標としている作品である。主教材で学習したことを生かし、こ
の文章を読むことを通して、読む力の定着を図りたい。

(3) つけたい力と読みの方法 【つけたい力】 ○読みの方法

【段落の内容を読み取る力】

○段落の中心となるところをとらえて読む。

・写真・接続語・中心語句

写真と文章を対応させながら、接続語に着目させるとともに、中心語句にも着目させ、段落の中心となる内容を読み取らせる。

【それぞれの段落が全体の中で果たす役割を考える力】

○段落と段落の関係を考えて読む。

・指示内容・小見出し・大見出し

段落の小見出しをまとまりに分け、その大きなまとまりに対して大見出しをつける。板書などで図を作りながら作品全体の構成を理解させる。

3 単元の目標と評価基準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	<p>◎段落相互の関係を考えながら文章を正確に読もうとする。</p> <p>◎伝える相手や目的に応じて、材料を取捨選択し、分かりやすく書こうとしている。</p>	<p>・伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てていこうとしている。</p>
書く能力	<p>◎取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせることができる。 〈書くこと ア〉</p> <p>◎書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。 〈書くこと イ〉</p> <p>○見出しを立てながら書く。 〈書くこと エ〉</p>	<p>・取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。</p> <p>・相手や目的に応じて、必要な材料を収集したり選択したりして、分かりやすく書いている。</p>
読む能力	<p>◎それぞれの段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。 〈読むこと イ〉</p> <p>◎写真と対応した部分に注意して読み取り、それぞれの特徴をまとめることができる。 〈読むこと オ〉</p>	<p>・それぞれの段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読める。</p> <p>・写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読んでいる。</p>
言語についての 知識・理解・技能	<p>○文章全体について、段落の役割を理解することができる。 〈言語事項 オ(イ)〉</p>	<p>・段落のまとまりが文章全体の中で果たす役割を理解している。</p>

4 単元の指導計画と評価規準（19時間扱い）

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	学習の見通しを持つ。 ○題名から内容を予想する。 ○全文を読む（範読） ○感想を書く。	題名や内容に 興味を持ち、文 章全体を読もう としている。 (発言)			
	2	○学習計画を立てる。 ・形式段落に分ける。 ・学習課題を確かめる。 ・学習の順序を確かめる。 ○新出漢字の読みを確かめる。 ○意味調べをする。			中心語句や指 示語、接続語な どに着目しなが ら大まかな文章 構成を捉えてい る。(発言)	語句の意味を とらえている。 (ノート)
深 め る	3	段落のつながりを考えながら 読む。 ○問いかけを捉える。 ○要点をまとめる。 ・1～3段落を読み、内容を まとめ、小見出しをつける。	内容に興味を 持ち、段落相互 の関係を考えな がら、文章全体 を読もうとして いる。 (発言)		中心語句を用 い要点をまとめ ている。 (学習プリント)	
	4	・4～6段落を読み、内容を まとめ、小見出しをつける。				
	5	・7～8段落を読み、内容を まとめ、小見出しをつける。				
ま と め る	6	○段落のまとまりを考え、大 見出しをつける。 ○段落構成を図にまとめる。			文章全体の組 み立てを表して いる。 (学習プリント)	
広 げ る	7	学習したことを生かす。 ○補助教材「便利ということ」 を読む。 ・範読する。 ・難語句について学習する。 ・形式段落に分け小見出しを つける。			自分の考えを まとめている。 (学習プリント)	
	8 本 時	○段落のまとまりを考え、大 見出しをつける。 ○段落構成を図にまとめる。				段落のまとま りが文章全体 の中で果たす役 割を理解してい る。(発言)

広 げ る	9	○「四年三組から発信します」を読み、学習の見通しをもつ。	教材文から読み取ったことをもとに、伝えたいことを発信する活動に意欲的に取り組もうとしている。 (発言)			
	10	○教科書作例の工夫に気づく。	メモと作品の差や、相手に応じた工夫に気づこうとしている。 (発言)			
	11	○題材について話し合い、各グループのまとめ方のイメージを持つ。				
	12 18	○各グループで協力して取材や作業に当たる。 ○相手や目的に応じた材料を選び、表現の仕方を工夫して文章に書く。		伝える相手や目的に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。 (作品)		文と文、段落と段落のつながりを考えながら接続語や指示語を使っている。 (作品)
	19	学習のまとめをする。 ○提示された作品を見て、工夫点などを述べ合う。 ○コラム「選んで伝える」を読み、単元のまとめをする。 ○教材文を読み返し、自分達の活動を振り返る。	進んで感想を述べ合っている。 (発言)			

5 本時の指導

(1) 目標

「便利ということ」の内容を捉え、文章全体の構成を考えることができる。

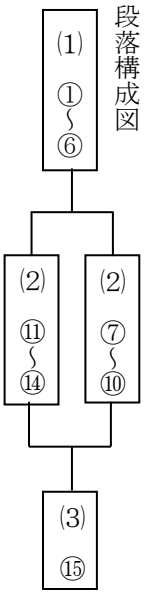
(2) 評価の観点と具体の評価規準

観点・具体の評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手立て
読む能力	文章全体の構成をつかみ、その理由を明らかにすることができる。	文章全体の構成をつかみ、理由をいくつか明らかにすることができる。	前時までの学習を思い出し、友達のをよく聞くようにさせる。

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 ◎評価
見通す 3分	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">文章全体の組み立てを考えよう。</div> 3 読みの視点と学習の進め方を確認する。 ・形式段落と小見出し	・前時は、形式段落に小見出しをつけたことを想起させる。
深める 30分	4 教材文を音読する。 5 文章の構成を考える。 (1) 小見出しを確認する。 (2) 段落の構成を図に表す。 ○大きなまとまりはいくつになりますか。 ○つながりはどうなっていますか。 (3) グループで交流する。 (4) 全体で交流する。 6 自分の考えをまとめる。 ・便利とはどういうことか。(①～⑥) ・使う人によって、便利なことや不便なことがある。(⑦～⑭) ・だれにとって便利なのかを考える。(⑮)	・形式段落を確認しながら音読させる。 (グループ読み) ・各段落には、どんなことが書いてあったのか確認する。 ・まとまりを作った理由も明らかにさせる。 ・前時までの学習を生かし、段落どうしがどのような関係になっているか考えさせる。 ・グループ内で交流し、自分の考えを確かなものにする。 ・全体で交流し、考えを深めることができるようにする。 ・段落構成図を理由とともにまとめさせる。 ◎文章全体の構成をつかみ、その理由をいくつか明らかにすることができる。
まとめ 12分	7 まとめの音読をする。 8 今日の学習を振り返る。 9 次時の学習内容を知る。	・文章構成を考えながら音読させる。 ・文章全体の組み立てを振り返る。 ・自己評価をする。 ・読みの視点を考えながら読むことが大切なことを確認する。 ・「四年三組から発信します」の学習に入ることを知らせる。

(4) 板書計画

<p>段落構成図</p>  <pre> graph TD A["(1) ① ~ ⑥"] --- B["(2) ⑪ ~ ⑭"] A --- C["(2) ⑦ ~ ⑩"] B --- D["(3) ⑮"] C --- D </pre>	<p>⑮ だれにとって便利なかどうかをかんがえる。</p> <p>⑬ 不便を感じる人が少なくなるようにする。</p> <p>⑫ 歩道橋の長所と短所</p> <p>⑪ たくさんの人が使うせつび</p> <p>⑩ 使いやすい道具を選ぶ。</p> <p>⑨ 道具は便利な物</p> <p>⑧ 便利だと思ふこと不便だと思ふこと。</p> <p>⑦ 使う人の立場を考える。</p> <p>⑥ 便利なこと、不便なこと。</p>	<p>⑤ 便利ということは、どういうことか。</p> <p>④ チャイムをおすとライトが光る。</p> <p>③ どうしてチャイムが鳴ったことがわかったのか。</p> <p>② 耳の不自由な女性の様子</p> <p>① 友人の話</p> <p>(1) 便利ということ。</p>	<p>手がかり 形式段落と小見出し</p> <p>便利ということ</p> <p>文章全体の組み立てを考えよう</p>
--	---	--	--